



## 乳がん・子宮がん検診について

### 《乳がん》

- 日本人女性の9人に1人が乳がんにかかると言われてます。
- 乳がんは女性のがん罹患率第1位！
- 早期のうちに治療すれば約95%以上が治ります。  
早期に発見するためには2年に1回、検診を受けましょう。
- 30代の方⇒乳房超音波検査(エコー)
- 40代以上の方⇒マンモグラフィ検査+乳房超音波検査(エコー)  
医師の判断で実施



### 《子宮がん》

- 子宮頸がんは20代後半以降から増えるがんです。
- 子宮がんは早期のうちはほとんど自覚症状がありません。  
感染から発症まで、平均5~10年かかります。自覚症状がなくても20歳から、2年に1回、検診を受けましょう。

※伊江村では、子宮がん(20~68歳)乳がん(30~68歳)の偶数年齢の方に、婦人がん検診の受診票を送っています。受診票が届いたら検診を受けましょう！

## 産後、婦人がん検診はいつから受けられるの？

### 《乳がん》

☆卒乳後、乳汁分泌がなくなってから受けましょう！

※授乳期でも、自覚症状(しこりや乳汁に血が混ざるなど)がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

### 《子宮頸がん》

☆出産後、悪露がなくなってから(約1か月以降)受けましょう！  
☆授乳中でも検査可能です。

※不正出血などの自覚症状がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

※産後の検診の目安は、医療機関によっても異なるため、前もって医療機関を確認することをお勧めします！

## インフルエンザワクチンのQ&A



### 1. 生後6か月です。インフルエンザの予防接種できますか？

生後6か月から接種することはできますが、1歳未満のお子さんにはあまり効果が期待されていないため、1歳を過ぎてからの接種をおすすめします。

### 2. 妊娠中・授乳中に接種しても大丈夫？

抵抗力の低い妊婦さんの重症化予防に最も有効と言われています。接種を希望される方は通っている産院へお問い合わせください。また、授乳中でもお子さんへの悪影響はありません。 ※参考資料：産婦人科診療ガイドラインー産科編 2020

インフルエンザの予防接種は、希望する人だけが受ける「任意接種」です。感染症対策は、予防接種の他に「手洗い・うがい・睡眠・栄養摂取」を心がけましょう。

※診療所で接種される方は、「無料」で受けられます。村外医療機関で受ける場合は、「立て替え払い」となります。詳細は広報誌10月号をご覧ください！

## 離乳食教室のご案内

令和4年11月17日(木)

時間☆10時~12時

対象の方には個別にご案内します。

※第2子以降のママでも、参加希望の方はご連絡ください。



## フレママ Caféのご案内

令和4年11月25日(金)

午前の部☆10時~12時  
(妊娠中の身体や生活について)

午後の部☆13時~15時  
(お産について)



詳細は後日、妊婦さんへご案内します。